和三十七年寮歌

昭

ずあその意気は永遠に栄えん[々に語ったる歓喜の記 の 記き

あ

我 我 我 日 に 壁 き が が 夜 ゃ 歌 か 7容い れ 捨てたる邪道よ ひもとき探索 は残る千代 たる真理よ

ああその純情後に偲ば 6

好機に乗りし時流の波 が は たく百年に 壁歌は続く百年に 壁歌は続く百年に 壁歌は続く百年に を は嫌いし若人が ときまますが が は たく百年に

の背が

あ

あ そ の 思出い い つ

か

ħ λ

: 崩が

ΪÌ 執 秀 行 洋視 蓈 君 君 作 作 Ш 歌

助